

# 第7回大田区移動等円滑化推進協議会

## 議 事 概 要

日 時：平成24年11月19日（月）9：30～11：30

場 所：区役所本庁舎11階 第五・第六委員会室

出席者：末尾に記載

次 第：

開会

議事

- 1 委員の交代について
- 2 （仮称）大田区移動等円滑化推進計画（大森駅周辺地区）について
- 3 かまた街なか“すいすい”プランについて
- 4 点検整備地区（平和島駅周辺地区）の取り組みについて
- 5 今後のスケジュールについて
- 6 その他

質疑

事務連絡等

閉会

資 料：

- ・次第
- ・座席表
- ・資料1 「（仮称）おおもり街なか“すいすい”プラン」（素案）
- ・資料2 かまた街なか“すいすい”プランについて
- ・資料3 点検整備地区（平和島駅周辺地区）の取り組みについて
- ・資料4 今後のスケジュールについて

## 主な質疑応答

### 1. 「(仮称) おおもり街なか “すいすい” プラン」について

高橋委員長 : まちづくりパートナー (UD パートナー) の実績についてうかがいたい。定期的な会合や研修等は実施されているのか。

事務局 : 区の施設点検を 10 回程実施済み。点検整備地区である平和島駅周辺地区の調査にも協力を頂いている。研修は年に 2 回実施し、全部で 37 名に登録頂いている。今後は事業者からの点検への要望にも応えていきたい。

高橋委員長 : プランに記載されているものについて、早く進められるものはスピードをあげて着手を進めて頂きたい。

### 2. かまた街なか “すいすい” プランについて

高橋委員長 : 特定事業について、「25 事業者 (35 施設)」というのはどういう意味か  
事務局 : 複数施設を保有する事業者もいるため。

高橋委員長 : 特定事業策定にかかわる議論・協議の中で出された課題や問題点について伺いたい。

高橋委員 (代理) : 修繕が必要と指摘された箇所や時代背景が異なり法律に沿っていないもの等については早急に対応を進めていきたい。ホームドアやワンルート確保といったことについては、費用が莫大にかかるといったこともあり、順次対応を進めていく方針。

依田委員 (代理) : ノンステップバスと案内表示についての指摘が主と認識している。ノンステップバスについてはすでに 100% の導入が完了しており、引き続き他の箇所についても、詳細をうかがいつつ参考にしていきたい。

小沼委員 (代理) : 道路環境の面から考えると、蒲田には平坦な箇所が多く、必然的に自転車利用者も増加するので放置対策が必要と認識している。特に高齢者の自転車利用者が多い。今後も区と協力をして意識改革に取り組んでいきたい。

宮澤副委員長 : 補足として申し上げるが、ホームドアは今後大改修が不要な可動式の設置が増えていくという話もうかがっていること、また京浜急行バスでは年 1 回車いす利用者への対応研修も行っている。P21~23 に示されるように、点検を行ってきて感じるのは“(4) 区民との協働”がテーマだということ。自転車を駐輪しようとしている人に注意をするとその場では対応するが、しばらくすると駐輪をしている。街なかを“すいすい”移動するためには、のぼり旗や看板等の設置について、区と我々がどう住民を啓蒙していくかが課題。点検や説得、説明を続けていく必要があり、我々協力者としてはやる気はあるので、そうした継続性を踏まえてプランを推進していく必要がある。

根本委員 (代理) : 路上の物を撤去する行事などで区民の方々に参加してもらいつつ啓蒙

を進めていきたい。

岩本委員(代理) : まちづくりパートナーとして登録をしている。バスに車いす使用者が乗車する際、スロープの傾斜と道路とが合わないことがあり、スムーズに入れられない場合がある。周りの乗客を待たせてしまう結果となり、不便。仲糶谷から蒲田に向かうバス停付近で実際に遭遇した。

事務局 : 産業道路周辺。建物と歩道とのすりつけの勾配等、様々な理由はあるものの、意見を伝え国道の担当者と検討をする。

佐々木委員 : 知的障がい者は通所のためにバスを利用することが多い。事業者側に対応を求めるだけでなく、施設職員や家族としてどのようなことに気をつけるべきか、意見があればうかがいたい。

清野委員(代理) : 乗務員ひとりひとりがどういった対応をしているのかという点については把握できていないが、車いす使用者への対応等の研修により学ぶ点も多く、今後も、知的障がいをもつ利用者について、直接参加して頂いて研修をさせて頂く機会があればよいと考えている。

依田委員(代理) : 乗務員から上げられているトラブル等の報告は今現在ない。知的障がい者は外見では障がいを持っていることがわからない場合もあるので、そういった点も含めて乗務員向けの資料で啓蒙等を行っている。声の掛け方や注意の仕方等に気をつける必要があると認識している。乗客のことをより理解をして、気持ちのいい対応を心掛けたい。

佐々木委員 : 通所施設側でワークショップなども行っているという話を聞く。情報を掲載したリーフレットを次回持参して配布したい。

君島委員 : 品川区との隣接地域について、放置自転車対策などをより協力して進めていく必要があるのでは。

事務局 : 本プラン策定にあたり、協働を持ちかけたものの品川区の事情もあり断念したが、担当者レベルでの協力関係は築けている。先方も協力的。放置自転車は通勤通学以外の夕方以降は目的地の前に置いてしまうことが多いため、駐輪場を増設するだけでは対策にならない。啓蒙的な取り組みが必要であり、今後も協力を進めていきたいと考えている。

### 3. 点検整備地区(平和島駅周辺地区)の取り組みについて

宮澤副委員長 : 区民点検にまちづくりパートナーとして同行をしたが、駅前のバリアは大変なものであった。当地のまちづくり協議会の方々も長年、駅前の歩道部分の混雑について非常に困っているとのこと。事故が起きていないことが不思議、という状況であった。また、環状七号線に続く裏道も利用者の多さに比して狭く、バリアが多いという印象を受けた。古い街並みで、狭く凹凸の多い箇所が多い。国、都、区、警察など、多くの関係者の協力でもって大改修を行う必要がある。

閉 会

第7回 大田区移動等円滑化推進協議会 出欠状況

氏名	所属・現職	出欠（出席：○）
高橋 儀平	東洋大学 ライフデザイン学部 学部長	○
菅原 麻衣子	東洋大学 ライフデザイン学部 准教授	×
江守 央	日本大学 理工学部 助教	×
宮澤 勇	NPO 法人 大身連 理事長	○
岩本 安起	大田区肢体障害者福祉協会 理事	代：川田氏
高山 千鶴子	大田区視力障害者福祉協会 会長	○
竹内 千代江	大田区聴覚障害者協会 副会長	○
佐々木 桃子	大田区知的障害者育成会 会長	○
君島 文雄	大田区精神障害者家族連絡会 代表	○
嶋田 実	大田区老人クラブ連合会 会長	×
鳴嶋 享郎	大田区自治会連合会 会長	○
遠藤 孝一	大田区商店街連合会 会長	×
高橋 秀昭	ひとにやさしいまちづくりを進める大田区民の会 副会長	○
高橋 健	東日本旅客鉄道株式会社 東京支社 総務部企画室副課長	代：二宮氏
織茂 宏彰	東京急行電鉄株式会社 鉄道事業本部 事業統括部事業推進課長	○
島村 昭一	京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 計画営業部計画課長	代：斉藤氏
堀切 弘行	東京モノレール株式会社 総務部 課長	○
安田 智	東京都 交通局 総務部 技術調整担当課長	代：高山氏
依田 修	東急バス株式会社 営業部 運輸課長	代：石氏
清野 尚	京浜急行バス株式会社 総務部 部長	代：岩田氏
上田 誠	国土交通省 東京国道事務所 交通対策課長	○
吉野 茂	東京都 第二建設事務所 管理課長	○
根本 敦	大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課長	代：丸山氏
小沼 進一	警視庁 蒲田警察署 交通課長	代：門向
松本 均	警視庁 田園調布警察署 交通課長	×
眞島 信彦	警視庁 池上警察署 交通課長	代：間島氏
磯部 守男	警視庁 大森警察署 交通課長	代：福重氏
中村 勝一	大田区 経営管理部 施設管理課長	○
中山 順博	大田区 教育総務部 施設担当課長	×
池田 敏之	国土交通省 関東運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課長	代：姥貝氏
花井 徹夫	東京都 都市整備局 都市基盤部 交通企画課長	×
今井 健太郎	大田区 経営管理部 経営担当課長	×
町田 達彦	大田区 産業経済部 産業振興課長	×
青木 毅	大田区 産業経済部 観光課長	代：印牧
森部 一夫	大田区 福祉部 福祉管理課長	○
太田 誠一	大田区 まちづくり推進部 まちづくり推進部長	○
荒井 昭二	大田区 まちづくり推進部 まちづくり管理課長	○

吉田 春彦	大田区 まちづくり推進部 交通企画担当課長	○
齋藤 浩一	大田区 まちづくり推進部 都市開発課長	○

事務局：まちづくり推進部 まちづくり管理課

福祉部 福祉管理課

傍聴者：1名